

自慢できる ところ

北野地域と曽根崎地域は淀川河口の洲に古くから発達した2つの集落で、江戸期には大坂三郷に接する風光明媚な地として栄え、明治期以降は一角が梅田ターミナルにつながる商業、宿泊、遊興の地として、喫茶、映画館、宿、舞台などの人をもてなす多彩なカルチャーを生み出し、これら積み重なった歴史・文化がまちに散りばめられています。高度経済成長に伴い、業務や複合商業ビルなどの集積も進みました。バブル期の過度な地上げにより、一部に低未利用地が取り残されていますが、昨今の駅一帯の都市再生の動きや、もと大坂北小学校跡地の開発などをきっかけに、いろいろな開発が動きはじめています。

歴史的なエピソードに恵まれるまち



北野村は豊臣家にかかわりが深く、太融寺には淀殿の墓がある。また兎我野町は、日本書紀にて仁徳天皇の時代に登場する古い地名。



幹線道路に残る龍王大神と大イチョウ。この場所も、かつては太融寺の境内だった。

大坂三郷につながる北野村、曽根崎村



曽根崎村の氏神である露天神社(お初天神)は、「曽根崎心中」の舞台でもあり、現在は「恋人の聖地」として全国から参拝客が絶えない。



北野村の氏神である綱敷天神社の狛犬は、戦災を生き延び、奉納100周年を迎える。

梅田ターミナルとともに発展 / 音楽や芸能など多彩なカルチャーを発信



再開発が進む JR 大阪駅南側。阪急百貨店、富国生命ビルのリニューアルオープンに続いて、阪神百貨店の建て替えも進む。



映画館「ピカテリー」は、その名残を残しつつ、ライブハウスや芝居小屋が入居し、新たなカルチャーを発信し続けている。

戦災復興と都市再生



お初天神通り商店街から東に延びる路地が再開発され、若い女性を中心に新たな賑わいを創出している。



一帯は戦災で焼失したが、昔ながらの商店街を骨格として細い路地(私道を含む)を残しながら復興。低未利用地にも再開発の兆しがある。



課題がある ところ

キタ歓楽街地区はターミナルエリアの一角にありながら、大規模なリーディングプロジェクトがある西梅田、茶屋町、「うめきた」などに比べ、停滞したイメージがある。阪急東通り、お初天神通り、兎我野町などそれぞれ特徴を持っているが、全体として良くも悪くも歓楽街・夜のまちのイメージがある。さまざまな取り組みにより改善は見られるが、性風俗営業や居酒屋などのキャッチ、放置自転車など、目先の利益にとらわれ、自分さえよければいいといった調和を乱す迷惑行為が目にあまり、まちのイメージが悪化している。

土地利用面の課題 商店街に物販店が少ない / ゴミ投棄や野良猫による環境悪化



バブル期に転売目的で売買され、適切な管理ができていない空地・空き家等が、不法投棄・野良猫等によるまち全体の印象を損なっている。



野良猫に餌やりをする人がおり、そのせいで迷惑を被っている人や建物が数多くある。

環境面の課題 性風俗産業 / 客引きが多い / 放置自転車が多い



客引き適正化条例により客引きは減ってきたものの、氏名公表や前科をもとしない悪質な人たちがまだ残っている。(写真は取締日)



風俗営業適正化法の違反や脱法行為も見られ、これらの場所を舞台とする凶悪犯罪事件も起こっている。

都市施設面の課題 道路が狭く防災面で問題がある一画がある / 災害時帰宅困難者 / 地下街とのつながりがわかりにくい



道路が狭く入り組んでおり、防災面等に問題のある一角がある。また、災害時の帰宅困難者への対応が不足している。



地下街とのつながりなど歩行者のネットワークがわかりにくい。新御堂筋沿いが暗い。また、全体的に緑が少ない。

組織面の課題 町会や商店会に未加入の人が多く / まち活動に参加するきっかけが少ない

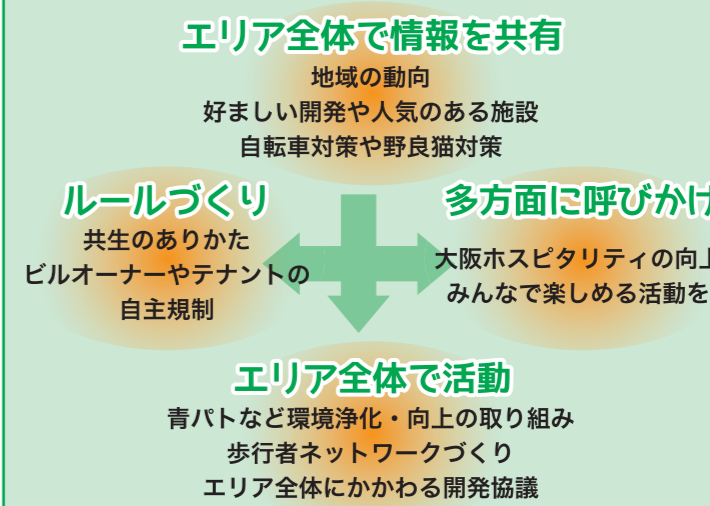


町会活動を知らせる掲示板は活発に活用されているが、自己の利益を優先し、まちの環境に無関心で、町会や商店会に加入しない人が多い。



駐輪場整備とともに全域が放置禁止区域に指定され、まち全体にあふれていた放置自転車は減少したものの、まだかなりの放置が残っている。

まちづくり構想の実現に向けて



連合振興町会や商店会の役割

- エリア内のコミュニティ形成の推進・歴史・文化の情報発信・交流・祭り
- エリア単位での防犯・防災・環境維持改善活動
- エリアにかかわる開発者との協議調整、協定締結
- 町会加入、商店会加入など、開発・進出・入居時のルール作りと管理運営

キタ歓楽街環境浄化推進協議会の役割

- 連合振興町会のエリアにまたがる活動(安心・安全、情報発信、情報共有)
- 広域的に参加を呼びかけておこなう活動(まち案内エスコート、まち歩き)
- 連合振興町会と商店街組織が連携しておこなう活動の調整
- 連合振興町会のエリアにまたがり、影響のある開発者への協力要請、協定締結

ビルオーナー・管理者の役割

- 適切なビルの管理運営
- ビル自体の品質管理(オーナーとして法令遵守) / テナント管理(違法行為監視、指導)
- テナントへの情報提供
- 行事やルール等の地域情報を提供 / 名物や特典等の魅力情報
- まちづくり活動への協力
- 部会入会 / 一緒に環境向上 / 協働でのプロモーション

ビル自主規制部会の設置

ビルオーナー・管理者が自主的に、ビルの資産価値とまちの資産価値の向上を両立させるための取り組み。勉強会などを通じ、課題共有と協力体制の強化を図っています。

楽しみながら、誇りを持って「まちづくり」を!

青色防犯パトロール

毎週金曜夜 8 時より実施。地域主体の活動が行政を動かす、無料案内所の規制強化や客引き適正化条例の制定、客引き指導員の配置などにつながっています。

環境浄化パレード

年 2 回、地域の各種団体と合同で、違法行為や迷惑行為防止の呼びかけをおこなうパレードを実施。沖縄民謡風のメッセージソングを歌い、楽しく行進しています。

まち案内エスコート

増え続けるインバウンドに対応するため、迷っている人に声をかけ、まち案内を実施。年 3 回ほど実施。客引きによるまちのイメージダウンを減らす効果もあります。

迷惑駐輪防止・駐輪場利用呼びかけ

迷惑駐輪問題解決のため、北野連合振興町会が堂山町に「ウメチャリ」を開設。同時に利用促進 / 迷惑駐輪防止のための啓蒙活動を実施。関西大学の協力を得て、原因究明の調査も実施。

壁面アート

落書きされた駐輪場の壁面を、消すだけでなく、再び落書きされないよう、壁面アートを製作。SNS で呼びかけ、100 人以上が参加。自分で描くことで愛着が湧き、落書きに注意するように。

まち歩き

アサヒ・ラボガーデンとコラボし、まち歩きを実施。まちの歴史を知ること、まちを見直すきっかけづくりをしています。

開発への提案

もと大坂北小学校の処分時、連合振興町会や各種団体がそれぞれの立場から提案をまとめ、開発計画に反映。広範囲に影響が及ぶ開発の場合、協議会が窓口となり、協議・協定を進めています。

情報発信

内外に活動を知らしめるため、イベント参加の呼びかけや仲間づくりのため、協議会では、早くから Facebook を活用しています。また、アーカイブ作成のため、ウェブページも開設しました。



※基図に大阪観光局エリアマップを使用